

第 13 回 シューズの〇〇〇

つい、この前の話。

冬場のアフロローチは、静電気のせいではこりがたまりやすく、その影響でスライドが軽くなる傾向にあります。

そんな感じで、いつもより軽く感じたところある大会。

シューズのパーツについていたほこりを落とすべく、ブラシでこすっていた時、私は気づいてしまったのです。

そう、「シューズのマジックテープが割がれかけている」事実。

いろいろなセンターに足を運んでいた時期は、各センターでスライドを合わせるために、パーツを付け替えて調整するということは、日常茶飯事でした。

しかし、最近行くセンターは、パーツを替えずなくても全く問題ない場所ばかりでしたので、まったく気にしていませんでした。

みなさん、今すぐ「自身のシューズ、確認してみてください。」

パーツが汚れていたり、割がれかけていたり、なんか付いていたり、今まで気にしていなかった部分が気になり始めるかもしれませんよ。

かといって、見つけてしまった場合どうするかが問題ですね。

私の場合、シューズ側のマジックテープが割がれかけているので、ホームセンターで靴専用の接着剤を買ってきて修復しました。

汚れの付着したスライドパーツに関しては、取ってキレイにできるものならよいですが、それが出来ないなら新しいパーツを購入して交換するのが手っ取り早いでしょう。

また、パーツのマジックテープがダメでくっつかないということも、過去お客様にありました。

この時はダメになった部分だけハサミで切り取ってみたら、無事付くようになりました。

シューズとパーツが一体になってしまっている場合は、靴ごと替えないといけないのがやはりネックですね。

こう考えると、やはりシューズはパーツが張替できるものを最低限揃えた方がよいということにもなりそうです。

ホールの方に意識が行きがらのポウリングですが、土台を支えるシューズに今一度、意識を持って行って確認してみましょう。

< 著者 >



書をこよなく愛し
書に愛されたい
とあるポウラー

<好きなもの>
にゃんこ